

1. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

- 19日、省紀律検査委員会は周楽栄・陽江市統一戦線部長を重大な紀律違反の疑いで調査中と発表（12月20日付『南方日報』）。
- 20日、省紀律検査委員会は梁徳洪・省水電集团有限公司副総経理を重大な紀律違反の疑いで調査中と発表（12月21日付『南方日報』）。

2. 広東・イスラエル理工学院のプレート除幕式が開催

- 18日午前、上記プレート除幕式が開催され、李剣閣・総長が挨拶で同学院の発展の過程を振り返るとともに、李嘉誠基金会会長兼汕頭大学董事会名誉会長の李嘉誠氏が同学院の発展のために、更に1000万円の寄付を行ったことを発表した（12月19日付『南方日報』、『広州日報』、『深圳特区報』）。

3. 省幹部による海外要人との会談等

- 18日～20日、黒川治・兵庫県議会議長率いる代表団一行が広東省を友好訪問。19日午前、李玉妹・省人代主任が一行と会談し、次のように述べた。同省は同県と友好関係を更に増進させ、省人代と県議会の交流・協力を強化することを期待しており、その良好なインタラクションを通じて、経済・貿易、観光、人と文化、青少年交流等の分野における協力を推進し、日中の友情を固め、発展させるために貢献していく。黒川議長は、経済・貿易、環境保護、人材交流・育成における同県と同省の協力は順調に進展しており、友好交流・協力を更に深め、ウィンウィンを実現したいと述べた（12月20日付『南方日報』）。
- 19日～22日、全人代中仏友好グループの招きを受け、フランス国民議会仏中友好グループ一行が広東省を友好訪問。20日午後、徐少華・省人代副主任が一行と会談し、次のように述べた。今後、双方は人の往来と交流を更に強化し、相互に学習し、経験を参照し合い、科学技術イノベーション、クリーンエネルギー等の分野における双方の実務協力を促進するとともに、より多くの分野におけるウィンウィンの協力を推進し、両地域の繁栄・発展を促進していきたい（12月21日付『南方日報』）。
- 21日、陳小川・省人代副主任がミクロネシア連邦議会議長一行と会談し、次のように述べた。広東省とミクロネシア連邦は将来的に省人代と同議会の協力を強化し、漁業、農業、観光、人と文化等の分野における交流・協力を推進していくことができる（12月22日付『南方日報』）。
- 22日、林少春・常務副省長がウクライナ国立科学アカデミー視察団一行と会談し、次のように述べた。同アカデミーには中国・ウクライナ両国の協力プロジェクト、広東省の産業・マーケット・政策・イノベーション・環境等の強みに依拠し、同省と更にハイレベルで、広く、深く交流し、人材の誘致を推進し、重要な分野・核心的な技術における合同研究・開発を行い、先進的な技術革新の実用化を推し進めていただきたい。会談後、省人的資源・社会保障庁と同アカデミー国際協力局が「国際的な人材交流・イノベーションセンター」協力覚書に署名（12月23日付『南方日報』）。
- 20日～26日、習近平・国家主席の招きを受け、ガンビア大統領が中国を公式訪問しているが、日程どおり、24日～25日、同大統領率いる代表団が広東省を訪問（12月24日付『南方日報』）。

4. 南シナ海「メタンハイドレート」探査・開発フォーラムの開催

- 先頃、国土資源部は広東省政府、中国石油天然ガス集団公司（CNPC）と「南シナ海神狐海域におけるメタンハイドレート探査・採掘パイロットエリア建設を推進する戦略的協力協定」に署名し、同海域のメタンハイドレートの産業化を推し進めていくとした。19日、広州市で上記フォーラムが開催され、楊勝雄・中国地質調査局広州海洋地質調査局主任技師が、メタンハイドレートの産業化は2030年に実現できる見込みであることを明らかにした（12月20日付『南方日報』）。

5. 省政府全体拡大会議・常務会議の開催

●21日午前、馬興瑞・省長主宰の上記会議が開催され、まもなく第13期省人代第1回会議の審議に出される「政府活動報告（討論稿）」について討議を行い、2018年の民生事業・資金分配、財政特別資金の使用に関する全体プラン、2017年国民経済・社会発展計画の実施状況、2018年の計画等について検討した（12月22日付『南方日報』）。

6. 省公安国境総隊が党大会の精神の学習・貫徹状況報告会を開催

●21日午後、省公安国境総隊が「初心を忘れず、使命を銘記する」——第19回党大会の精神の学習・貫徹状況を「見定め・忠誠を示す」報告会を開催。報告会の前に李希・省党書記、馬興瑞・省長が省公安国境総隊の先進的かつ手本となる代表と会談した。この5年間、同総隊は省全体の国境地域で約3万件の事件を調査し、約1万件の刑事事件を解決している（12月22日付『南方日報』）。

7. 省党常務委員拡大会議の開催

●21日、李希・省党書記主宰の上記会議が開催され、中央経済工作会議の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討（12月23日付『南方日報』）。

8. 広東省初となる省実験室が設立

●22日、広東省は4つの省実験室の建設を正式にスタートさせた。李希・省党書記、馬興瑞・省長、林少春・常務副省長、江凌・省党秘書長、黄寧生・副省長、温国輝・広州市長、陳如桂・深圳市長が設立式典に出席。実験室は省党委員会、省政府が主導し、広州市、深圳市、仏山市、東莞市各政府が組織する。広州市はバイオ医薬・健康産業、深圳市はインターネット空間科学・技術、仏山市は先進製造科学・技術、東莞市は材料科学・技術を中心とし、広東省の基礎研究、応用基礎研究の能力を向上させ、戦略的な科学技術力を強化することを目的とする（12月23日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市党常務委員会会議の開催

●先頃、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、「広州市が党内の政治生活を強化し、ルール化するための3年アクションプラン（2018年～2020年）」について審議・採択。更に、全省消防・安全業務緊急テレビ会議の精神を伝達・学習・貫徹し、市人代常務委員会、市政協党組織の業務報告を聴取（12月18日付『広州日報』）。

2. 広州市が先進製造業の外資利用促進に関するアクションプランを発表

●18日、市商務委員会と市工業・情報化委員会が合同で「広州市が先進製造業の外資利用を促進するための3年アクションプラン（2028年～2020年）」を発表し、IAB（インターネット・AI・バイオ）産業、NEM（新エネルギー・素材）産業に外資を集めることを力強く促進するとした。目標は製造業の外資利用額に関し、毎年約20%増を維持し、3年間で実行ベースの外資利用総額を35億米ドル以上にする事となっている（12月19日付『広州日報』）。

3. 2017中国海外人材交流大会等の開催

●20日午前、上記大会ならびに第19回中国留学生広州科学技術交流会（2017海交会）が開幕。このたびの大会は「知識・イノベーション・ウィンウィン」をテーマとし、海外から3000人以上の人材が集まった。開幕式では林少春・常務副省長、湯涛・人的資源・社会保障部副部長が挨拶を行い、シリコンバレーの著名なAIプロジェクト・インキュベーター（フロスト・データ・キャピタル）創設者兼社長のジョン・ヴィグルー氏が発言を行い、郭軍・國務院華僑事務弁公室副主任が大会の開幕を宣言した。温国輝・市長が開幕式を主宰（12月20日、21日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 2017第1回中国ソフトパネル技術（材料）国際フォーラムの開催

●17日、上記フォーラムが開催され、高自民・副市長が開幕式に出席。このたびのフォーラムには中国、米国、日本等の国と地域から著名な学者や企業家が出席し、ソフトパネル技術・材料分野における最先端技術の動向を共有し、OLED（有機発光ダイオード）産業のグローバルな発展の趨勢について分析・検討した（12月18日付『深圳特区報』）。

2. 広東・香港・マカオ・ベイエリア企業家連盟が設立

●18日、広東自貿区前海エリアで、広東・香港・マカオ・ベイエリア企業家連盟設立大会が開催され、梁振英・全国政協副主席（前香港行政長官）、田夫・広東自貿区前海・蛇口エリア管理委員会主任が出席するとともに、同連盟のプレート除幕式を行なった。同連盟のメンバーはテンセント、華大基因（バイオテクノロジー）、卓越集団（不動産）、ケリーグループ（ホテル、不動産）、HSBC等、著名企業代表で構成（12月19日付『深圳特区報』）。

3. 2017中国深圳フィンテック・グローバル・サミットの開催

●19日、深圳市金融発展サービス弁公室、香港金融管理局、マカオ金融管理局、中国人民銀行デジタル貨幣研究所、前海管理局が合同で上記サミットを開催。艾学峰・副市長が出席し、次のように述べた。深圳金融業発展「第13次5か年計画」では国際金融イノベーションセンターの構築を打ち出しており、フィンテックは金融イノベーション業務を代表する重要なものの1つとして、同センターを構築する上で重要なとっかかりとなっているので、金融が実体経済に奉仕する能力を絶えず向上させ、記入業が新たな跳躍的な発展を実現できるよう推進していく（12月20日付『深圳特区報』）。